

編集後記

今月号は、本年の掉尾を飾る特集として、授産施設と福祉工場をお送りしたい。職業的リハビリテーションの実践の場として、身障授産施設の長い間果たしてきた役割、新しいものとしての、重度授産、福祉工場等の現実の姿が浮き彫りにされている。さらに、労働行政にかかわる身体障害者雇用促進法の改正やこの不況の現実の中で、これらとの関係において、授産施設や福祉工場のあり方や進むべき道を読み取っていただけたら幸いである。

小川氏の論文では、障害の重度化に伴う、現場での混乱を整理するための、雇用対策と福祉対策の交通整理をのべられている。また、現場からの報告では、各氏がいかにユニークな発想をもって、現実に対処しているかが伝わってくる。調氏、星氏、伊藤氏も福祉工場、養護学校と立場こそ違え、職業的リハビリテーションが、評価の時点から、就労、老後に至るまで、一貫した科学的な体系が作

られなければならないことを主張している。これに対し、沢村氏はリハビリテーションに関心を持つ一医師の立場から、松井氏は諸外国の現状、特にワークショップについてのべられているが、この2つの論文は、今後の方向への1つの提案と考えると、読者諸兄の議論の種となるのではないだろうか。さらに、米国の職業リハの専門家であるギャレット、コーエン両氏を囲んでのセミナーを小川氏に紹介して頂いた文をこの号にのせることができた。また、一頁講座も職業リハである。この機会に再読していただければ幸いである。

最後になってしまったが、三島氏の巻頭言、研究報告も充実した内容で、本年最後の号をしめくくって頂いた。

この号が皆様にお届けできる頃には、師走の忙しい最中と思われるが、良きお年を迎えられることをお祈り申し上げるとともに、来年度もよろしく編集部を御指導、御鞭達いただければ幸いです。(大川 嗣雄)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
小 池 文 英
砂 原 茂 一
津 山 直 一
水 野 祥 太 郎

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
荻 島 秀 男
土 屋 弘 吉
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
江 口 寿 栄 夫
小 野 啓 郎
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
沢 村 誠 志
杉 山 尚
武 智 秀 夫
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
間 得 之
長 谷 川 恒 雄
橋 倉 一 裕
平 方 義 信
福 井 園 彦
三 島 博 信
渡 辺 英 夫
飯 田 卯 之 吉
遠 藤 千 恵 子
小 川 孟
加 藤 一 郎
小 島 蓉 子
笹 沼 澄 子
鈴 木 明 子
高 田 玲 子
陳 慧 玉
土 屋 和 夫
松 村 秩
(以上五十音順、敬称略)

(細田、田村、鹿島)

次号予告(第5巻第1号)

特 集 心疾患のリハビリテーション I

心筋硬塞のリハビリテーション……………埼玉医大 土 肥 豊
狭心症のリハビリテーション……………昭和大 新 谷 博 一
ペーシングについて……………筑波大 堀 原 一

脳卒中後片麻痺における虚血性心疾患

(その頻度と管理)……………七沢病院 中 村 昭
心疾患児の教育……………国立特殊教育研 永 峯 博

巻 頭 言 歩行分析について……………東北大 飯 野 三 郎

講 座 リハビリテーション診断学(12)……………中央鉄道病院 佐 藤 和 男

歩行分析(1)……………労災義肢センター 土 屋 和 夫

一頁講座 特殊教育(1)……………国立特殊教育研 村 田 茂